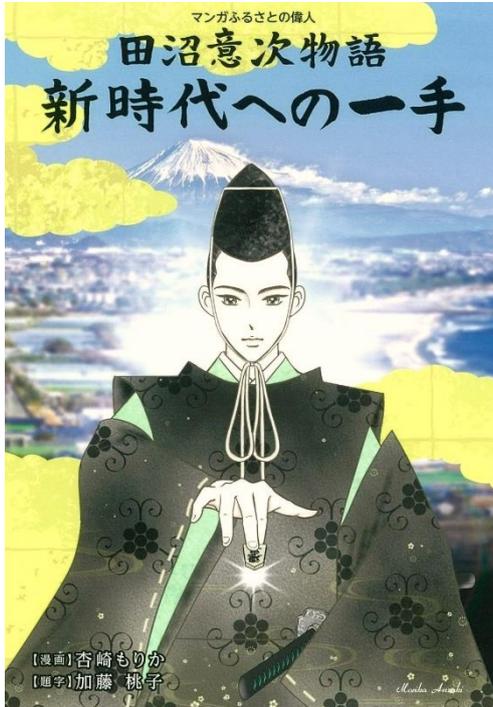


令和3年度 牧之原市教育委員会

自己点検・自己評価報告書



牧之原市教育委員会

目 次

1	自己点検・評価の趣旨	…	1
2	点検・評価の対象及び方法	…	2
3	点検・評価を行う事業	…	3～5
4	牧之原市教育大綱	…	6～7
5	牧之原市教育委員会自己点検・評価シート	…	8～20
6	教育委員会活動等報告	…	21～23
7	総合評価	…	24～26
8	評価を受けて	…	26



1 自己点検・評価の趣旨

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成 20 年 4 月 1 日施行）、教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りながら、点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、市民に公表することが義務付けられました。

その目的は、教育行政の執行状況を検証して、効果的な教育行政の推進に生かすことと、市民の皆様への説明責任を果たすことにあります。

教育理念「こころざしを持ち 夢あるひとづくり」の実現に向けて、令和 3 年度に実施した事業の内部点検及び評価を行い、さらにそれについて、教育に関する学識経験者（以下「学識経験者」という。）から御意見をいただき、その結果を報告書にまとめました。

〈参考〉地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象及び方法

1 点検・評価の対象

(1) 点検及び評価

牧之原市第2次総合計画基本計画の教育文化に関する政策に設定されている8つの「方向性」に位置づけられている事業について、点検・評価を行います。

(2) 報告

教育委員会の活動

2 評価対象期間

令和3年度

3 評価方法

教育委員会が「自己点検・評価シート」により、内部評価を実施するとともに、学識経験者の知見活用として静岡大学教育学部准教授 島田桂吾氏に総合的な評価をいただきました。

自己点検・評価シートの様式は、市が総合計画等の進捗状況を確認、評価する際に使用している様式をできる限りそのまま使用し、市の評価と整合が図れるようにしています。



マリンフェスタの様子



学校再編計画地域意見交換会の様子

3 点検・評価を行う事業

1 総合計画と基本計画

総合計画とは、市が総合的かつ計画的にまちづくりを進めるために策定するもので、目指す将来の牧之原市の姿に向け、市の総力を上げて取り組む計画です。

第2次総合計画は、基本構想(理念)、基本計画(政策と施策)、実施計画(事業)の3層で構成されています。基本計画は、基本構想に示した理念に基づいて具体的な施策を展開するため、政策の体系や個別の施策の方向性を示すものです。現在の基本計画の期間は令和元年度から令和4年度までの4年間です。



2 点検・評価を行う事業

総合計画の基本計画には、6政策の体系と25施策の方向性が示されています。教育委員会に係る施策は3つであり、施策の分類として8つの「方向性」が設定されています。今回の自己点検・自己評価は、これら8つの「方向性」に位置づけられた12の事業について、点検及び評価を行います。

(1) 総合計画政策2 教育文化 施策1 学びの意欲を育む学校教育

① 確かな学力を身に付け、生きる力を育む教育

【点検・評価する事業】

ア 英語力向上サポート事業

自ら英語に触れたい、使いたいと思うような場の設定や英語に慣れ親しむ環境をつくったり、外国人指導助手を活用したりすることで、児童生徒が外国の文化や生活などについて積極的に学ぶとともに、グローバル化するこれからの社会に対応し、生きていくために必要な資質やコミュニケーション能力を養う。

イ 理科支援員配置事業

より効果的にかつ効率的に理科授業を進めるために、授業の準備や片づけ及び指導の補助を行い、児童の理科への興味関心を高めるとともに、学力向上につなげる。

ウ ICT活用推進事業

第2期教育振興基本計画における「ICTの積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じた協働型・双方向型の授業革新を

推進する」の実現に向け、ICTの強みや特性を活かした授業を推進することで、未来を担う牧之原市の子どもたちに必要な資質・能力を育むことを目的とする。

② きめ細かな学校生活の支援

【点検・評価する事業】

ア 適応指導教室推進事業

不登校、いじめ、問題行動など、心に悩みや不安を抱える児童生徒及びその保護者を対象に、来室相談、電話相談、巡回相談などにより、その解決・解消を図るため、教育相談員、巡回相談員及び臨床心理士(非常勤)を配置し、それぞれの相談に対応する。様々な理由により、不登校の状況にある児童生徒に対して、在籍校への復帰と社会的自立に向けての支援をする。

③ 学校施設の改修と更新

【点検・評価する事業】

ア 学校再編事業

平成31年3月に策定された「望ましい教育環境のあり方に関する方針」に基づき、「通いたい・通わせたい」と思われる魅力的な小中一貫校をつくるため、学校再編計画を策定する。

策定のための検討については、教育委員会の諮問機関として、専門家や保護者等で構成する審議会を新たに設置する。なお、本計画は牧之原市公共施設マネジメント基本計画の個別計画となるものである。

イ コミュニティ・スクール推進事業

子どもたちに「次代を切り拓く力」を育むため、キャリア教育を軸とした小中一貫教育及び社会全体で子どもを育てる仕組みとしてのコミュニティ・スクールを進める。

地域学校協働活動と一体的なコミュニティ・スクールをつくるために研究・検討及び試行し、牧之原市に合ったコミュニティ・スクールを全校に設置し、活動を推進する。

ウ 小中一貫教育推進事業

平成31年3月に策定した「牧之原市望ましい教育環境のあり方に関する方針」に基づき、子どもたちの「次代を切り拓く力」を育むために、キャリア教育を軸とした義務教育9年間の系統立てた学びを実現する。

(2) 総合計画政策2 教育文化 施策2 豊かさを育む社会教育・芸術文化

① 社会教育活動の実施

【点検・評価する事業】

ア 市民学習推進事業

自ら生涯にわたり学習する社会の実現を目指し、各年代層に向けた多種多様な講座・教室を開催することで、子どもから高齢者に対して、幅広い学習の機会を提供し、生涯学習事業の推進を図る。また、文化団体の支援を行うことによって市民の文化意識の高揚と芸術活動の活性化を図る。

② 図書館機能の充実

【点検・評価する事業】

ア 図書館管理運営事業

利用者のニーズにあった図書館運営を行うとともに、図書館に足を運ぶことができない市民に読書の機会をつくることで、読書の推進と普及を図る。

③ 芸術文化の体験

【点検・評価する事業】

ア 文化振興事業

市民の文化意識の高揚と芸術活動の活性化を図るため、相良総合センターい〜らホールで文化振興事業を行った市民団体に対して補助金を交付する。

④ 地域の歴史の継承

【点検・評価する事業】

ア 田沼意次侯顕彰事業

生誕300年を契機として、市の偉人である田沼意次侯に関する歴史や文化に触れ、その優れた政治手腕を再認識することで、市民の見識を高めるとともにその功績を顕彰。

(3) 総合計画政策1 健康福祉 施策4 健康づくりの推進

① 運動による健康づくり

【点検・評価する事業】

ア 社会体育振興事業

健康増進計画及び牧之原市スポーツ推進計画に沿って、乳幼児期に対する事業展開、成年・中年・壮年期における運動環境の整備、高齢者の運動機能の維持・向上、新規スポーツ人口の獲得等の課題解決に向け、スポーツの普及啓発事業を行い、心と身体の健康づくりを目指す。

4 牧之原市教育大綱

■基本理念（目指す教育の根本となる考え方）

こころざしを持ち 夢ある人づくり

■教育の目標

- ◎気づき、考え、行動する人を育成します
- ◎確かな学力をつけ、次代を切り拓く力を育成します
- ◎人を思いやり、人との対話を大切にすることを育成します
- ◎豊かさが実感できる教育を推進します
- ◎地域活動の充実を図ります

■教育の目標と基本方針

気づき、考え、行動する人を育成します

- ◆目標を達成する喜びと感動を育む教育の推進
目標を立て、努力して達成することにより、学びの喜びと感動を実感する教育を進めます。
- ◆健康な体と心を育成し、存在感と肯定感を持てる教育の推進
身体の健康の向上に努めるとともに心の健康も充実させ、自他を大切に思う思いを育て、自分に自信を持てる教育を目指します。
- ◆自ら学び、考え、判断して行動する力を養う
ものごとの本質を見る目を養うとともに、自ら学び、自ら考え課題を解決する力をつけます。

確かな学力をつけ、次代を切り拓く力を育成します

- ◆学びたいという意欲を育む教育の推進
幼児期からの体験活動や学校における魅力ある授業づくりを進め、自ら進んで学びたいという気持ちと態度を育成します。
- ◆国際教育、英語(外国語)教育、理科教育の推進
国際化する社会をたくましく生きていくために、多様な考えを受け入れる力やコミュニケーション力をつける学習を進めます。また、科学への興味や関心を深め、ものづくりの基礎となる理科教育の充実を図ります。
- ◆情報機器(ICT)を活用し、楽しみながら積極的に学ぶ教育の推進
情報化が進む社会に対応し、情報の活用能力を高める教育を推進し、お互いを理解するためのツールとして情報機器の活用を進めます。
- ◆小中学校の再編による学ぶ環境の整備
安心・安全で、時代に対応した、子どもたちが学びやすい教育環境を整えるため、小中学校の規模と配置の適正化を図ります。

◆キャリア教育を軸とした小中一貫教育とコミュニティ・スクールの推進

小中一貫教育を進め、人間力の育成と個に応じた教育の充実を図ります。また、コミュニティ・スクールを導入し、社会全体で協働して子どもを育てる仕組みをつくります。

人を思いやり、人との対話を大切に作る心を育成します

◆人との出会いやふれあいを大切にし、お互いを認め尊重する

人とのふれあいを通して人の温かみや人を思いやる心を育み、互いの人格を認める心を育てます。

◆自立と共生の心を育み、生命を尊重する心を育む

自分を正しく見る目を養うとともに、家族や仲間を大切にする心を養い、いじめをなくし命の大切さと生きる喜びを育みます。

豊かさが実感できる教育を推進します

◆地域の自然を愛し、大切にする郷土愛を育む

豊かな自然の恩恵を通じて、郷土のよさを感じとり、住んでいるまちや人を愛する心を育てます。

◆本との出会いを大切にする図書環境の充実

生きる力を育み、人生を豊かにする読書活動を推進します。本を好きになり、本を大切にする心を養い、図書に携わる人の育成と支援活動を推進し、身近に読書が楽しめる環境を整えます。

◆文化芸術の振興とスポーツ活動の充実

心豊かで生きがいを持って暮らすため、文化芸術の振興と充実を図ります。スポーツに親しむ環境を整え、スポーツ活動を充実させることで心と体を育成します。

◆郷土の歴史や文化財を大切にし、将来にわたって引き継ぐ

市内に数多く残る文化財、郷土の発展や人々のために尽くした鈴木梅太郎博士をはじめとする多くの偉人、これらの財産や功績を受け継ぎ、広く知らしめるとともに後世へ残していきます。

地域活動の充実を図ります

◆年代を超えた交流により、一人一人が主体となった地域づくりを目指す

子どもから高齢者まで地域に暮らす一人一人が役割を持ち、世代間の交流を図って地域活動をすることで活力ある人づくり、地域づくりを目指します。

◆生きがいを持った豊かな暮らしを目指す地域の生涯学習活動の推進

はりはら塾や田沼塾などの活動をはじめ、コミュニティー活動、ボランティア活動、グループ活動などの自主的、自立的な生涯学習活動を活発化させ、暮らしの中に生きがいと豊かさを育みます。

5 牧之原市教育委員会 自己点検・自己評価シート

- ・英語力向上サポート事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ・理科支援員配置事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ・ICT活用推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- ・適応指導教室推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- ・学校再編事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- ・コミュニティ・スクール推進事業・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ・小中一貫教育推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- ・市民学習推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- ・図書館管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- ・文化振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- ・田沼意次侯顕彰事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- ・社会体育振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	英語力向上サポート事業	新規・既存・定期	既存	款	項	目	大	中
担当課名	学校教育課	担当係名	指導係	10	1	3	5	

1 事業の位置付け

事業期間	2006	年度	～	年度
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	学びの意欲を育む学校教育

2 事業の内容

事務事業の内容	児童生徒がこれからの国際社会に必要な資質やコミュニケーション能力を養うため、ALT(外国人英語指導助手)を配置して外国語活動を低学年から行なうとともに、長期休暇を利用したイングリッシュキャンプを企画実施。			
国・県・民間事業者による類似事業		他市町の実施状況	吉田町、御前崎市、島田市、焼津市、菊川市、藤枝市、川根本町、掛川市	

3 投入コスト(千円)

令和3年度 事業費	20,258	令和3年度 事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT配置(5名) ・外国語活動の実施(小1～6) ・イングリッシュキャンプの実施 ・英語検定へのチャレンジ ・外国語活動指導力向上研修会(R2.4.1～R5.3.31)
-----------	--------	--------------	--

4 業績指標の設定

手段	主な活動内容	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
				目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
①外国人英語指導助手を配置し、中学校では英語の授業において、正しい発音や会話能力の向上を図る。小学校では、外国語活動を通して英語に慣れ親しむとともに、外国の文化等について学ぶ。 ②小中学生を対象に英語を聞き話す機会を設けるイングリッシュキャンプを実施する。 ③小学校外国語活動指導法研修会を実施する。 ④市内で英語検定を受検できる機会を設け、チャレンジを推奨する。そのために、中学2年生を対象に英語能力判定テストを実施する。	ALTが入った、外国語・英語実施授業時間数	時間	2,750	3,500	3,300	3,300	3,300	
			3,853	3,795	3,496	3,803		
	英語検定受験者数	人	150	150	150	150	150	
			130	212	125	169		

<活動指標の定義>
手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)

目的	対象(だれを対象とした事業か)	成果指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
市内全小中学校の児童生徒	意図(対象がどのような状態になるのか)	(児童生徒アンケート)英語でALTとよく話をする。	%	60	60	65	70	70
		47	42	40	41			
外国人英語指導助手を通し、外国の文化や生活などを学び、これからの国際社会に対応して生きていくために必要な資質やコミュニケーション能力を養う。		(児童生徒アンケート)外国人と多少わからないことがあっても英語で会話できる。	%	60	65	70	70	70
		60	52	55	54			

<成果指標の定義>
目的(意図)の進捗・達成度が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)

<目標値設定根拠>
2/3程度の児童・生徒が英語での会話に抵抗感をもたないことが英語力向上のポイントであると捉えたため。

基本計画(上位施策)の方向性		
政策	2	施策
	2	2
確かな学力を身に付け、生きる力を育む教育 ・学校と地域や企業が連携・協働し、地域を知る、郷土愛を醸成する、地域素材を活用するなどの特色ある教育を実践します。 ・知識及び技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力などの確かな学力を身に付ける授業づくりのため、授業改善に取り組みます。 ・国際理解やコミュニケーション能力の向上、モノづくりの基礎となる理科教育の充実、ICTを活用した授業など、児童生徒が一歩踏み出す追究となる学習を進めます。 ・変化が激しく、先行き不透明な時代に対応できるよう、たくましく生き抜く力を育みます。		

基本計画の指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
授業がわかると思う児童・生徒の割合	%	90.0	90.0	90.0	90.0	
		86.4	96.7	87.7	87.9	
英語が好きという児童・生徒の割合	%	90.0	90.0	90.0	90.0	
		88.7	88.7	85.4	86.2	
子どもを任せたいと思える学校づくりへの取組に対する市民満足度	%	61.9	61.9	61.9	61.9	
		46.9	49.6	49.6	53.8	

担当課による点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定の小学生受験者は22名で、増加傾向にある。 ・5名のALTの配置やイングリッシュキャンプの実施等により、小学生の時から英語に慣れ親しむ環境が整えられ、児童生徒の英語の積極的活用につながっている。
-------------	---

牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	理科支援員配置事業	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
担当課名	学校教育課	担当係名	指導係	10 1 3

1 事業の位置付け

事業期間	2013	年度 ~	年度
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策
			学びの意欲を育む学校教育

2 事業の内容

事務事業の内容	理科授業をより効果的に進め、児童が理科への興味関心を高め、学力向上につなげる。理科支援員を4人配置し、実験準備など理科授業の環境整備の支援。		
国・県・民間事業者による類似事業	理科観察実験支援事業	他市町の実施状況	吉田町

3 投入コスト(千円)

令和3年度 事業費	0	令和3年度 事業実施内容	理科授業の環境整備を支援(理科支援員4名配置)
-----------	---	--------------	-------------------------

※会計年度任用制度移行により管理的事業に計上 3,240,291円

4 業績指標の設定

手段	主な活動内容		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	
	理科支援員(会計年度任用職員)4人を任用し、実験準備などの理科授業の準備や片付け及び実験器具等理科室の環境整備を行い、理科授業を円滑に進める。	活動指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	

<活動指標の定義>
手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)

目的	対象(だれを対象とした事業か)		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
	成果指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	

<成果指標の定義>
目的(意図)の進捗・達成度合が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)

<目標値設定根拠>
専門性を授業に活かすことができたかを把握するには2/3以上の児童の理解度が高まったと評価されることが必要であると考えたため。

基本計画(上位施策)の方向性		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
政策	2	施策	1			
確かな学力を身に付け、生きる力を育む教育 ・学校と地域や企業が連携・協働し、地域を知る、郷土愛を醸成する、地域素材を活用するなどの特色ある教育を実践します。 ・知識及び技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力などの確かな学力を身に付ける授業づくりのため、授業改善に取り組みます。 ・国際理解やコミュニケーション能力の向上、モノづくりの基礎となる理科教育の充実、ICTを活用した授業など、児童生徒が一歩踏み出す追究となる学習を進めます。 ・変化が激しく、先行き不透明な時代に対応できるよう、たくましく生き抜く力を育みます。	基本計画の指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値
	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値

担当課による点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務した学校の教職員や児童の評価も高い。理科実験の準備、授業の支援等、今後もその必要性が強い。 ・令和元年度からは4名体制で、すべての小学校へ支援員を配置できた。支援員は全員が理科専門で質の高い支援が行われた。 ・教員からは、実験器具等の準備や理科室(準備室)の整備活動に対する評価が高く、理科支援員の活動によって、自らの授業計画に専念できたという声が多く寄せられている。 ・理科支援員が関わった学級の教員のほとんどが、授業づくりのサポートを受けたことも成果であると認めており、理科支援員の専門性が生かされていると考えられる。
-------------	---

牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	ICT活用推進事業	新規・既存・定期	既存	款	項	目	大	中
担当課名	学校教育課	担当係名	指導係	10	1	3	9	

1 事業の位置付け

事業期間	2015	年度	～	年度
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	学びの意欲を育む学校教育

2 事業の内容

事務事業の内容	児童生徒の学習内容の定着を高めるため、さらに情報機器の活用力を身につけるために、校内LAN等の環境整備と電子黒板やタブレット等を活用した授業を実施するため、指定校を設け、実践研究を推進。		
国・県・民間事業者による類似事業		他市町の実施状況	菊川市:50インチTVとPCを全教室に配置。H26年度に各教室にiPadを配布。

3 投入コスト(千円)

令和3年度 事業費	37,717	令和3年度 事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ICTアドバイザー、プログラミング学習講師簡易備品更新 サーバー・インターネット使用 プロジェクター、マグネットスクリーン、プロジェクター台、付属機器購入 GIGA端末修繕
-----------	--------	--------------	---

4 業績指標の設定

手段	主な活動内容	<p>新学習指導要領が完全実施される令和2年度までに、市内全教室でプロジェクタ授業でICTを活用した実践ができるように環境整備を進める。以降令和4年度に向けて、児童生徒がタブレットを活用して、ICT機器を効果的に使い、自分の考えを説明したり、互いに比較したりすることで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">活動指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (R1)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> </tr> <tr> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">児童生徒用タブレット配備数</td> <td rowspan="2">台</td> <td>71</td> <td>222</td> <td>222</td> <td>222</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td>71</td> <td>109</td> <td>3,103</td> <td>3,103</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無線LAN、光回線整備</td> <td rowspan="2">校</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><活動指標の定義> 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)</p>	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	児童生徒用タブレット配備数	台	71	222	222	222	222	71	109	3,103	3,103		無線LAN、光回線整備	校	1	9	10	-	-	1	10	10	10	
	活動指標	単位	2018 (H30)			2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)																														
目標値 実績値			目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値																																	
児童生徒用タブレット配備数	台	71	222	222	222	222																																	
		71	109	3,103	3,103																																		
無線LAN、光回線整備	校	1	9	10	-	-																																	
		1	10	10	10																																		
目的	対象(だれを対象とした事業か)	市内小中学校の児童・生徒・教員	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (R1)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> </tr> <tr> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ICTを活用した授業を実践できる教員の割合R1以降は児童生徒の割合</td> <td rowspan="2">%</td> <td>90</td> <td>60</td> <td>70</td> <td>80</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>91</td> <td>75</td> <td>75</td> <td>90</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><成果指標の定義> 目的(意図)の進捗・達成度合が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)</p> <p><目標値設定根拠> 一人一台端末が配置され、児童・生徒の情報活用能力の向上を目指すため。</p>	成果指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	ICTを活用した授業を実践できる教員の割合R1以降は児童生徒の割合	%	90	60	70	80	90	91	75	75	90													
	成果指標	単位				2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)																													
目標値 実績値			目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値																																	
ICTを活用した授業を実践できる教員の割合R1以降は児童生徒の割合	%	90	60	70	80	90																																	
		91	75	75	90																																		
	意図(対象がどのような状態になるのか)	ICTを積極的に活用した授業実践を全校で展開する。																																					
	基本計画(上位施策)の方向性	<p>確かな学力を身に付け、生きる力を育む教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校と地域や企業が連携・協働し、地域を知る、郷土愛を醸成する、地域素材を活用するなどの特色ある教育を実践します。 知識及び技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力などの確かな学力を身に付ける授業づくりのため、授業改善に取り組みます。 国際理解やコミュニケーション能力の向上、モノづくりの基礎となる理科教育の充実、ICTを活用した授業など、児童生徒が一歩踏み出す探究となる学習を進めます。 変化が激しく、先行き不透明な時代に対応できるよう、たくましく生き抜く力を育みます。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基本計画の指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (R1)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> </tr> <tr> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">授業がわかると思う児童・生徒の割合</td> <td rowspan="2">%</td> <td>90.0</td> <td>90.0</td> <td>90.0</td> <td>90.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>86.4</td> <td>96.7</td> <td>87.7</td> <td>87.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ICTを使って分かりやすく、発表や表現ができる児童・生徒の割合</td> <td rowspan="2">%</td> <td>85.0</td> <td>85.0</td> <td>85.0</td> <td>90.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80.8</td> <td>67.4</td> <td>85.3</td> <td>72.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	基本計画の指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	授業がわかると思う児童・生徒の割合	%	90.0	90.0	90.0	90.0		86.4	96.7	87.7	87.9		ICTを使って分かりやすく、発表や表現ができる児童・生徒の割合	%	85.0	85.0	85.0	90.0		80.8	67.4	85.3	72.6	
基本計画の指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)			2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)																															
		目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値																																	
授業がわかると思う児童・生徒の割合	%	90.0	90.0	90.0	90.0																																		
		86.4	96.7	87.7	87.9																																		
ICTを使って分かりやすく、発表や表現ができる児童・生徒の割合	%	85.0	85.0	85.0	90.0																																		
		80.8	67.4	85.3	72.6																																		
担当課による点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> 通信ネットワーク環境が整備及び改善がされ、一人一台学習用情報端末を校内で活用する機会が増えた。また、各校で端末を活用した授業についての研修が推進されている。 校内でICT教育を推進する研究員の育成を行ってきた。一方で、学習用情報端末の導入やネットワークの構築により、ハード面での学校への負担が増加している。端末の活用についても、近隣市町や先進的な取組の情報を得る必要があるため、ICTを専門とした支援員の配置を検討する。 校内のネットワーク環境を広げていきたい。令和6年度には、学習者用のデジタル教科書の導入の方針が検討されている。現在のWi-Fi接続可能範囲を把握し、どこでも学習用情報端末を活用できるようにしていく必要がある。 クラウドのセキュリティの強化やネットワークの使用時間制限をすることで家庭での活用を推進していくことも今後検討する必要がある。 																																						

牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	適応指導教室推進事業	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
				10 1 3 3
担当課名	学校教育課	担当係名	指導係	

1 事業の位置付け

事業期間	2007	年度 ~	年度
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策
			学びの意欲を育む学校教育

2 事業の内容

事務事業の内容	教育相談及び不登校児童生徒の学習や学校復帰、社会的自立を支援するため、適応指導教室「フルール」を設置し、児童生徒や保護者を対象に相談やカウンセリングによる支援を実施。		
国・県・民間事業者による類似事業	静岡県総合教育センター不登校児童学習支援「ステップバイステップ」	他市町の実施状況	多くの市町で実施

3 投入コスト(千円)

令和3年度 事業費	586	令和3年度 事業実施内容	不登校、いじめ、問題行動など、心に悩みや不安を抱える児童生徒及びその保護者を対象に、来室相談、電話相談、巡回相談などにより、その解決と解消を図るため、教育相談員、巡回相談員及び臨床心理士(非常勤)を配置し、それぞれの相談に対応。様々な理由により、不登校の状況にある児童生徒に対して、在籍校への復帰と社会的自立に向けての支援をする。
-----------	-----	--------------	---

4 業績指標の設定

手段	主な活動内容 適応指導教室「フルール」を設置し、教育相談員2人、巡回相談員3人、臨床心理士(非常勤)1人を配置し、適応指導及び相談事業を実施。開設は、週5日で電話相談、来庁相談を主として、学校や保護者宅への巡回相談も実施。学校へ行けない児童・生徒を受け入れ、学習支援、人間関係づくり支援、相談活動を通して、学校復帰や社会的自立の支援を実施。	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
				目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		相談件数(来室、電話、移動)	件	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
				2,970	2,086	2,513	2,634	
		<活動指標の定義> 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)						
目的	対象(だれを対象とした事業か) 不登校、いじめ、問題行動など、心に悩みや不安を抱える児童・生徒、その保護者 意図(対象がどのような状態になるのか) 教育相談及び不登校児童生徒の学習や学校復帰、社会的自立を支援するため。	成果指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		来室児童・生徒の状況が改善した割合	%	90	90	90	90	90
				90	90	90	90	
		<成果指標の定義> 目的(意図)の進捗・達成度合が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)						
		<目標値設定根拠> 来室により状況が改善することが学校への復帰や自立につながると考えられるため。						
	基本計画(上位施策)の方向性 政策 2 施策 1 きめ細かな学校生活の支援 ・牧之原市で生まれ育った全ての児童生徒が充実した教育を受けられるように、特別支援教育を更に充実します。 ・いじめ、不登校、問題行動などの防止、早期発見、解決を図るための相談体制を充実します。	基本計画の指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組に対する市民満足度	%	61.9	61.9	61.9	61.9	61.9
				46.9	49.6	49.6	53.8	

担当課による点検・評価	コロナ感染症が流行した令和2年度以降、牧之原市小中学校の不登校者(年間30日以上欠席者)は、小中学校で増加傾向にある。児童生徒が人間関係を構築することに困難を感じる状況(マスクによる表情、ソーシャルディスタンス)がある。また、家庭環境に課題がある児童生徒数の増加傾向も見られる。 フルールでは、児童生徒の気持ちに寄り添い、学習の積み上げやコミュニケーションの取り方など学校で生活するために必要なスキルを身に付けるための支を行っている。また、保護者の不安や児童生徒へのかかわり方などのアドバイスも行い、児童生徒が学校での生活へ前向きになるように働きかけている。 不登校の要因が多岐にわたるため、一人一人のかかわり方に相談員も悩みを抱えている。そのため、学校と連絡を定期的に行っている。また、学校教育課と生徒指導報告の情報を共有しながら、フルールに関連した児童生徒の状況を把握している。今後は、県任用のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携を広げ、一人一人に寄り添った支援ができるようになっていきたい。
-------------	--

牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	学校再編計画策定事業	新規・既存・定期	既存	款	項	目	大	中
担当課名	教育総務課	担当係名	総務係	10	1	2	5	1

1 事業の位置付け

事業期間	2019	年度 ~	2022	年度
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	学びの意欲を育む学校教育

2 事業の内容

事務事業の内容	小中連携教育を進め、魅力ある教育環境を実現するため、小中学校再編計画を策定する。			
国・県・民間事業者による類似事業		他市町の実施状況	島田市他	

3 投入コスト(千円)

令和3年度 事業費	7,371	令和3年度 事業実施内容	学校再編計画の策定・意見交換会の開催・基礎調査の実施
-----------	-------	--------------	----------------------------

4 業績指標の設定

手段	主な活動内容	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
				目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
	・望ましい教育環境のあり方の答申を受け、牧之原市学校再編計画策定委員会を中心に、小中連携教育を進め、学校再編等について調査・研究及び協議をする。 ・策定された学校再編計画に基づき、新しい学校施設整備基本構想をつくる。	牧之原市学校再編計画策定及び学校施設整備基本構想等は市民参加手続きのもと策定	回		5	7	8	
				5	30	33		
		学校施設整備基本構想検討会議等の開催(意見交換等)	回					6

<活動指標の定義>
手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)

目的	対象(だれを対象とした事業か) 市民 意図(対象がどのような状態になるのか) ・牧之原市望ましい教育環境のあり方に関する方針に基づき、小中学校の再編計画を策定する。 ・新しい学校の構想をつくることで、新しい学校の姿が市民の目に見える形となる。	成果指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		学校再編計画の策定	%		40	100	100	
				40	70	100		
		学校整備基本構想の策定	%					50

<成果指標の定義>
目的(意図)の進捗・達成度が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)

<目標値設定根拠>
事業の進捗を割合で示している。

基本計画(上位施策)の方向性				基本計画の指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
政策	戦略P	施策	3			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
公共施設マネジメント基本計画の時点修正、施設分類別の個別計画の策定を行う。公共施設を賢く使うことで、サービスの質の向上に努めるとともに、個別施設の更新、統廃合、長寿命化に計画的に取り組む。							%	61.9	61.9	61.9
				46.9	49.6			49.6	53.8	

担当課による点検・評価	<p>計画を策定するにあたっては教育方針を検討することから始め、これを踏まえた学校再編計画を策定するまでの5年間で、市民参加の仕組みに基づく、審議会、意見交換会(ワークショップ形式)、アンケート、パブリックコメントを実施し、市民の意見を反映した計画を策定することができた。また、ウイズコロナの中での対応として、オンライン形式による保護者説明会を開催し、参加者から好評であった。基礎調査では、学校候補地選定の基礎資料の基となる資料を作成することができた。これらは、教育委員会部局だけでなく、まちづくり推進本部会議や部課長会議等を通し、全庁横断的に事業を進めることができた。また、このことにより、望ましい教育環境の実現に向け、更に一歩前進したものと評価する。今後も、新しくつくる義務教育学校の開校に向け、着実に取り組んでいく。</p>
-------------	---

牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	コミュニティ・スクール推進事業	新規・既存・定期	既存	款	項	目	大	中
担当課名	学校教育課	担当係名	管理係	10	1	2	5	3

1 事業の位置付け

事業期間	2019	年度	～	2022	年度	
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	学びの意欲を育む学校教育		

2 事業の内容

事務事業の内容	子どもたちに「次代を切り拓く力」を育むため、キャリア教育を軸とした小中一貫教育及び社会全体で子どもを育てる仕組みを進める。社会全体で子どもを育てる仕組みとして、地域学校協働活動と一体的なコミュニティ・スクールをつくるために研究・検討及び試行し、牧之原市に合ったコミュニティ・スクールを全校に設置し、活動を推進する。		
国・県・民間事業者による類似事業	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6」により、コミュニティ・スクールの設置が努力義務化されている。	他市町の実施状況	浜松市、磐田市、袋井市、藤枝市等

3 投入コスト(千円)

令和3年度 事業費	1,754	令和3年度 事業実施内容	地域と学校が同じ目標に向かって教育活動を推進するため、組織を立ち上げ、地域学校協働活動と一体的なコミュニティ・スクールの設置について研究・協議を行う。モデル校での試行を経て全校に設置し、活動を推進する。
-----------	-------	--------------	---

4 業績指標の設定

手段	主な活動内容 市内全小中学校にコミュニティ・スクールを設置し、地域と学校が共通の目標の元、教育活動を行う。	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
				目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
		会議の開催	回		3 3	3 3	3 2	3
		<活動指標の定義> 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)						
目的	対象(だれを対象とした事業か) 市民 意図(対象がどのような状態になるのか) 学校運営に地域・保護者の参加が可能となるとともに、地域においても学校においても共通の目標を持って取り組むことができる。	成果指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
		コミュニティ・スクール設置校(試行中含む)	校		2 3	3 3	7 12	12
		<成果指標の定義> 目的(意図)の進捗・達成度合が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)						
		<目標値設定根拠> 令和3年度中に12校にコミュニティ・スクール設置するにあたり、学校と相談し段階的に開始する可能性がある数値。						

基本計画(上位施策)の方向性			
政策	2	施策	1
確かな学力を身に付け、生きる力を育む教育 ・学校と地域や企業が連携・協働し、地域を知る、郷土愛を醸成する、地域素材を活用するなどの特色ある教育を実践します。 ・知識及び技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力などの確かな学力を身に付ける授業づくりのため、授業改善に取り組みます。 ・国際理解やコミュニケーション能力の向上、モノづくりの基礎となる理科教育の充実、ICTを活用した授業など、児童生徒が一步踏み出す追究となる学習を進めます。 ・変化が激しく、先行き不透明な時代に対応できるよう、たくましく生き抜く力を育みます。			

基本計画の指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
子どもを任せたいと思える学校づくりへの取組に対する市民満足度	%	61.9	61.9	61.9	61.9	
		46.9	49.6	49.6	53.8	
家庭や地域での子どもたちへの教育力向上の取組に対する市民満足度	%	59.5	59.5	59.5	59.5	
		44.5	47.0	47.0	49.6	

担当課による点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・全校設置の初年度であったが、CSディレクターが中心となり学校のニーズや各地域の実態に即した実践がなされてきた。2回行われたCSディレクター意見交換会においては、中学校区のつながりを意識したグループワークを行った結果、ディレクター間のつながりのある実践も見られるようになってきた。 ・学校によっては、学校職員や保護者も含め、学校運営協議会における反省評価アンケートを行い、本年度の反省評価から次年度に向けての取組などを明らかにしている。各校でPDCAサイクルの機能を生かした取組みがなされてきている。
-------------	---

牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	文化振興事業	新規・既存・定期	既存	款	項	目	大	中
担当課名	社会教育課	担当係名	文化振興係	10	5	3	2	

1 事業の位置付け

事業期間	2007	年度	～	年度
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	豊かさを育む社会教育・芸術文化

2 事業の内容

事務事業の内容	文化意識の高揚と芸術活動の活性化を図るため、文化振興活動や文化振興に係る事業を支援。			
国・県・民間事業者による類似事業		他市町の実施状況		

3 投入コスト(千円)

令和3年度 事業費	1,807	令和3年度 事業実施内容	市民の芸術文化振興事業への支援を行う事業 ・文化祭の開催 ・文芸まきのはら発行 ・団体への補助
-----------	-------	--------------	--

4 業績指標の設定

手段	主な活動内容	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	
				目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
	市民の文化意識の高揚と芸術活動の活性化を図るため、相良総合センターい〜らホールで文化振興事業を行った市民団体に対して補助金を交付する。	補助事業の利用団体数	団体	6	5	5	5	5	
				4	1	0	0		
				<活動指標の定義> 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)					
目的	対象(だれを対象とした事業か)	成果指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
				目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値		
	文化芸術に関心のある市民 意図(対象がどのような状態になるのか) 様々な文化や芸術に親しむことができるよう、鑑賞や発表の場、機会を提供する。	ホール利用率	%	80%	80%	80%	80%		
				75%	66%	53%	66%		
				<成果指標の定義> 目的(意図)の進捗・達成度が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)					
				<目標値設定根拠> 利用率=利用日数÷開館日数 平日を含める開館日数の8割利用を目標値とする。					
基本計画(上位施策)の方向性				基本計画の指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
政策	2	施策	2			目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
芸術文化の体験 ・芸術文化に誰もが気軽に参加し、触れ合い、体験できる機会をつくります。				文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する取組に対する市民満足度	%	53.3	53.3	53.3	53.3
						38.3	40.5	40.5	42.0

担当課による点検・評価	補助金による牧之原市文化協会の活動支援や「文芸まきのはら」第16号の発刊など、各種の文化振興事業を実施することで、多くの市民が文化・芸術活動に親しむ機会を提供することができた。芸能発表会及び作品展は、コロナ禍で中止となったが、今後は、感染防止対策を講じながら再開し、文化振興事業の推進及び普及に努める。
-------------	---

牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	田沼意次侯顕彰事業	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
担当課名	社会教育課	担当係名	文化振興係	10 5 3 2

1 事業の位置付け

事業期間	令和3年度	年度	～	年度
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	豊かさを育む社会教育・芸術文化

2 事業の内容

事務事業の内容	生誕300年を契機として、市の偉人である田沼意次侯に関する歴史や文化に触れ、その優れた政治手腕を再認識することで、市民の見識を高めるとともにその功績を顕彰。		
国・県・民間事業者による類似事業		他市町の実施状況	

3 投入コスト(千円)

令和3年度 事業費	3,000	令和3年度 事業実施内容	田沼意次侯を題材とした偉人マンガを製作し、市内公共施設や小・中学生の学習教材として活用する事業
-----------	-------	--------------	---

4 業績指標の設定

手段	主な活動内容	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
	次代を担う若者に牧之原市の歴史・文化を継承するため、B&G財団の偉人マンガ製作助成金を活用し、田沼意次侯を題材とした郷土学習やキャリア教育支援に使用できるマンガを製作した。	市内小・中学生への偉人マンガ配布数 (R4以降は新小学4年生)	部	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	2,246 2,246	380
		<活動指標の定義> 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)						
目的	対象(だれを対象とした事業か)	成果指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
	市民	伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取組に対する市民満足度	%	53.3 38.3	53.3 40.5	53.3 40.5	53.3 42.0	53.3
意図(対象がどのような状態になるのか)		<成果指標の定義> 目的(意図)の進捗・達成度合が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)						
田沼意次侯生誕300年を契機とし、「田沼のまち牧之原」を念頭に置いた上で、市民と行政が連携して「文化振興」を図る。		<目標値設定根拠> 令和3年度は「不満」が「満足」を上回ったため、当面は満足度を高めることを目標とする。						

基本計画(上位施策)の方向性		基本計画の指標		単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
政策	2	施策	2		53.3 38.3	53.3 40.5	53.3 40.5	53.3 42.0	
地域の歴史の継承・地域の文化財を包括的に調査、活用することにより、郷土の歴史への関心と理解を深めるとともに、史料の展示公開を通じて地域を学ぶ機会を創出します。・地域の歴史や偉人の功績を顕彰し、市民の郷土愛を育みます。					18,000 17,214	18,000 13,879	18,000 15,701	18,000 6,561	

担当課による点検・評価	幅広い世代に田沼意次侯の生涯や功績をわかりやすく知ってもらうため、製作したマンガを市内小学4年生から中学3年生までに配布するとともに、市内の図書館において貸し出しできたことは、顕彰活動の一層の推進に成果があったと考える。今後、一般販売ができるように増刷を検討するとともに、マンガを活用した偉人の功績を顕彰・継承する取組を継続していく。
-------------	---

牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	社会体育振興事業	新規・既存・定期	既存	款	項	目	大	中
担当課名	スポーツ推進課	担当係名	スポーツ推進係	10	6	1	2	

1 事業の位置付け

事業期間		年度	～	年度
2次総の位置付け	政策	健康福祉	施策	健康づくりの推進

2 事業の内容

事務事業の内容	心と身体の健康づくりのため、スポーツ推進委員会を中心にスポーツの普及を図るとともに運動の機会を提供する。			
国・県・民間事業者による類似事業	スポーツ基本計画静岡県スポーツ推進計画	他市町の実施状況	全市町	

3 投入コスト(千円)

令和3年度 事業費	5,584	令和3年度 事業実施内容	スポーツ・健康教室等の推進(幼児運動、軽スポーツの普及、大会開催) マリンスポーツイベント開催
-----------	-------	--------------	--

4 業績指標の設定

手段	主な活動内容	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
				目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
	スポーツ推進計画に基づき、スポーツ推進委員会やNPO法人牧之原市スポーツ協会、まきのはら総合スポーツクラブと連携し、幼児から高齢者までのライフステージに合わせたスポーツの普及啓発を図る。	スポーツ大会・教室等への参加者数	人	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
				6,183	5,512	2,323	1,811	
<活動指標の定義> 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)								

目的	対象(だれを対象とした事業か)	成果指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
	対象(だれを対象とした事業か) こどもから大人までの市民 意図(対象がどのような状態になるのか) 市民の心と身体の健康づくりのため。	一日30分以上の運動をする頻度	%	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0
				27.0	35.3	35.3	35.6	
<成果指標の定義> 目的(意図)の進捗・達成度が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)								
<目標値設定根拠> 5年間の実績による目標値								

基本計画(上位施策)の方向性				基本計画の指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
政策	1	施策	4			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
運動による健康づくり・気軽にスポーツや運動を楽しめる環境を整備します。						1日30分以上の運動をする頻度	%	47.0	47.0	47.0
						27.0	35.3	35.3	35.6	

担当課による点検・評価	令和3年度から3年間、B&G財団の支援を受け、防災拠点として配備した機材の活用等を学ぶ研修会を実施し、地元消防、団体等との定期的な訓練を行い、災害発生時における連携体制の強化が図れた。 また、スポーツ推進委員会を中心とした「干支吹き矢」普及事業は、高齢者向けの軽スポーツとして、定着化を図ったが、コロナ禍において、飛散を伴う種目であるため令和3年度は事業を見合わせていた。しかしながら、令和4年度からはスポーツ推進委員と連携し、コロナ禍におけるスポーツ推進の課題解決に向け、安心して幅広い層の市民が楽しめる「干支投げ矢」として新競技の検討を行い、市民への普及活動を行っていく。 今後も引き続き、市民が一人一人のライフステージに応じた環境づくり、スポーツに触れ合う機会の提供、強化に取り組んでいく。
-------------	--

6 教育委員会活動等報告

1 教育委員会活動

(1) 教育委員会とは

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の定めるところにより、学校その他教育機関の設置・管理、その他の教育事務を執行することを職務権限とする行政委員会であり、教育長及び4人の委員をもって組織される合議体の執行機関です。

(2) 教育委員会の構成

牧之原市教育委員会の構成は、次のとおりです。

① 教育長

教育長は、牧之原市長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、市長が、市議会の同意を得て任命します。教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。任期は3年で常勤です。

② 委員

委員は、牧之原市長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育・学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、市長が、市議会の同意を得て任命します。任期は4年で非常勤です。

◎ 牧之原市教育委員会委員の紹介

(令和4年3月現在)

役職名	氏名	任期
教育長	橋本 勝	令和3年10月1日～令和6年9月30日
委員 (教育長職務代理者)	澤田 衛	平成30年11月16日～令和4年11月15日
委員	吉住 幸子	令和3年12月3日～令和7年12月2日
委員	寺井 ゆみ	令和元年12月9日～令和5年12月8日
委員	池ヶ谷 裕太	令和2年11月16日～令和6年11月15日

(3) 教育委員会の活動

教育行政の基本的な施策の決定や諸問題の解決策の重要案件等処理するため、原則として、毎月1回開催する定例会と、必要に応じ緊急案件を処理するために開催する臨時会のほか、事務局との情報交換・事務報告・その他の打合せ等を行っています。

令和3年度 教育委員会開催状況

	開催日	時間	会場	種類
1	4月28日（火）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
2	5月27日（水）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
3	6月25日（木）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
4	7月28日（火）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
5	8月27日（木）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
6	9月29日（火）	9:00～	相良小学校	定例会 授業参観
7	10月23日（金）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
8	11月20日（金）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
9	12月25日（金）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
10	1月28日（木）	9:00～	菅山小学校	定例会 授業参観
11	2月18日（木）	13:00～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
12	3月1日（月）	11:00～	相良庁舎4階第3会議室	臨時会
13	3月26日（火）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会

令和3年度 総合教育会議出席状況

	開催日	時間	会場	出席者	議事
1	2月1日(火)	9:30～11:30	相良庁舎4階大会議室	9名 市長 市教育委員4名 学組教育委員4名	・牧之原市学校再編計画(案) ・義務教育学校について ・既存の小学校・中学校と義務教育学校の違い ・コミュニティ・スクールについて

令和3年度牧之原市教育委員会議案一覧

議案番号	会議月日	件名	担当課
1	R3. 4. 23	牧之原市立小中学校の主任等の任命について	学校教育課
2	R3. 4. 23	牧之原市立小中学校の学校運営協議会委員の委嘱について	学校教育課
3	R3. 4. 23	牧之原市立小中学校の学校評議員の委嘱について	学校教育課
4	R3. 4. 23	牧之原市文化財保護審議会委員の委嘱について	社会教育課
5	R3. 4. 23	押印手続の見直しに伴う関係規則の整備に関する規則の制定について	教育総務課
6	R3. 4. 23	牧之原市立小中学校教職員等の自家用車の公務使用に関する取扱要綱の一部を改正する要綱	教育総務課
7	R3. 4. 23	牧之原市立小・中学校公印取扱要領の一部を改正する訓令	教育総務課
8	R3. 5. 27	牧之原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	スポーツ推進課
9	R3. 5. 27	令和3年度牧之原市教育費補正予算(案)について	教育総務課
10	R3. 6. 29	牧之原市公民館運営協議会委員の委嘱について	社会教育課
11	R3. 6. 29	牧之原市学校教育振興事業費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	学校教育課
12	R3. 7. 30	令和4～6年度使用の中学校用教科用図書の採択について	学校教育課
13	R3. 8. 26	令和3年度牧之原市教育費補正予算(案)について	教育総務課
14	R3. 9. 30	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について	教育総務課
15	R3. 10. 26	牧之原市立小中学校の学校運営協議会委員の委嘱について	学校教育課
16	R3. 11. 26	牧之原市立小中学校の学校運営協議会委員の委嘱について	学校教育課
17	R3. 11. 26	牧之原市小中学校処務規程の一部を改正する規程	学校教育課
18	R3. 11. 26	令和3年度牧之原市教育費補正予算(案)について	教育総務課
19	R3. 12. 27	牧之原市立小中学校の学校運営協議会委員の委嘱について	学校教育課
20	R3. 12. 27	令和2年度牧之原市教育委員会の自己点検・自己評価報告書について	教育総務課
21	R4. 1. 25	令和3年度牧之原市教育費当初予算(案)について	教育総務課
22	R4. 2. 28	令和3年度牧之原市教育委員会表彰者の決定について	教育総務課
23	R4. 2. 28	令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について	教育総務課
24	R4. 3. 1	県費負担教職員人事の内申について	学校教育課
25	R4. 3. 25	「未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画～学校再編計画～」について	教育総務課
26	R4. 3. 25	令和4年度牧之原市教育委員会人事異動について	教育総務課
27	R4. 3. 25	牧之原市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	教育総務課
28	R4. 3. 25	牧之原市教育委員会職員職名規則の一部を改正する規則	教育総務課
29	R4. 3. 25	牧之原市立学校教育職員の業務量の管理等に関する規則	学校教育課
30	R4. 3. 25	牧之原市小中学校管理規則の一部を改正する規則	学校教育課

牧之原市教育委員会自己点検・評価は、総合計画の基本計画で示されている8つの「方向性」に位置づけられた12の事業について、点検及び評価を行うこととされている。

評者は牧之原市教育委員会より提出された「自己点検・評価シート」の項目及び内部評価結果について、総合的な評価を行った。

1 英語力向上サポート事業

英語検定受験者が目標値を上回ったことは、英語力の向上の意識が高まりつつあると言えるのであろう。ALTが入った外国語・英語実施授業時間数が大幅に増えたことが要因かもしれないが、「英語でALTとよく話をする」の数値はあまり変化が見られない。ALTが入る授業の工夫等をご検討いただきたい。

2 理科支援員配置事業

児童の理解、授業の関心度及び満足度が高い数値が示されており、「理科離れ」が問題視される昨今の状況において成果が出ていると思われる。さらなる充実に期待したい。

3 ICT活用推進事業

「ICTを活用した授業を実践できる教員の割合」が90%を超えたことはGIGAスクール構想が定着してきた証左であろう。今後はICT活用が授業改善等の「質」を高める手段として用いられることに期待したい。

4 適応指導教室推進事業

「来室児童・生徒の状況が改善した割合」が4年間とも90%となっているが、どのような状況を「改善」と捉えているのか。実績値の算定基準や方法をご検討いただきたい。

5 学校再編事業

学校再編計画については、いよいよ具体的な計画がスタートする。これまでも説明会等で丁寧に周知してきているが、今後も継続してより良い学校再編計画になることを期待したい。

6 コミュニティ・スクール推進事業

すべての学校がコミュニティ・スクールになったことで基盤は整えられたと思われる。今後は学校再編に向けてコミュニティ・スクールとしての小学校・中学校の連携・協働が進んでいくことに期待したい。

7 小中一貫教育推進事業

学校再編計画の骨格となる部分が小中一貫教育であると思われるため、さらなる教職員の理解促進等を進めていただきたい。

8 市民学習推進事業

新型コロナウイルス等の影響で市民学習等の開催が困難な状況でもあったが、感染症防止対策を講じながら、生涯学習のさらなる推進をはかっていただきたい。

9 図書館管理運営事業

図書交流館の来館者数が目標値を大幅に上回ったことは、準備段階から丁寧に議論してきた成果であろう。引き続き、利用者の声に耳を傾けながらさらなる改善に期待したい。

10 文化振興事業

文化振興事業は新型コロナウイルスの影響が大きいと推察される。「ウイズコロナ」における文化振興の工夫がなされることを期待したい。

11 田沼意次候顕彰事業

田沼意次について市内での周知はかなり広がったと思われる。記念事業も一段落だと思うが今後は市外への発信等にも力を入れていただきたい。

12 社会体育振興事業

コロナの影響からか「スポーツ大会・教室等への参加者数」が減少し続けているが、「干支吹き矢」の普及などできるところから少しずつ回復させていけばよいと思われる。

以上が、牧之原市教育委員会が実施している 12 事業を中心として、総合的な観点から点検した評価である。全体的に、どの事業も必要性が高く、一定程度の成果も示されており、今後も継続していくことが基本になるであろう。

今後は新しい総合計画に基づいて実施していくことになると思われる。次代を見据えた教育政策の展開に期待したい。

8 評価を受けて

令和3年度は、前年度に続き新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けた一年となりました。感染拡大防止の観点から多くの制限が加わり、計画変更や開催中止となる事業もありましたが、従来の手法の見直しを行いながら、目標の達成を期して、事業の質の維持・向上に努めてまいりました。

今回、12の事業に関する「自己点検・評価シート」の項目及び内部評価結果についての総合評価をいただいたわけではありますが、一定程度の成果が示される中、全体を通しての指摘事項はありませんでした。

しかし、御指摘いただいた各事業における検討すべき点については、年度毎の数値の変化を追いながら、内容の見直しや質を高める工夫、受益者への周知、情報発信等の必要があると感じています。コロナ禍における事業の実施には困難も予想されますが、そのことを理由にせず、できることから、できる範囲で、着実に取り組んでいくこととします。

教育委員会といたしましては、こうした機会を捉え、各課が実施している事業の成果や課題等を共有し、更なる事業の充実・改善に努めるとともに、市長部局等とも連携しながら、次代を見据えた教育政策の展開に力を尽くしてまいります。

牧之原市教育長 橋本 勝

牧之原市教育委員会 自己点検・評価報告書（令和4年10月）

発行 牧之原市教育委員会
〒421-0592 静岡県牧之原市相良275番地
電話：(0548) 53-2642／FAX：(0548) 53-2657
E-mail：kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp
ホームページ：http://www.city.makinohara.shizuoka.jp